

2021年度 日本工学院八王子専門学校											
ミュージックアーティスト科											
作詞・作曲4											
対象	2年次	開講期	後期	区分	選	種別	講義	時間数	30	単位	2
担当教員	夏野カレン			実務 経験	有	職種	ミュージシャン、作詞家、歌唱ディレクター				
授業概要											
インターネットの普及にやDAW機材の普及によって表現の場が増えたことにより、オリジナル楽曲制作の件数、そのクオリティーは年々高くなっている。メロディーの作り方、歌詞の書き方を学ぶ。またメロディーと歌詞を製作すると同時に、そのメロディーを譜面におこし、その下に譜割とりがわかるように歌詞を書けるようになることで 現場対応ができるミュージシャンに必要な技術を身につけることができる。											
到達目標											
5線紙に自分が作った楽曲のメロディーを書き、メロディー譜面を作ることができる。作詞作曲における実践的なテクニックを学ぶ。リスナーの心に残るようなメロディーの書き方と歌詞の書き方を学ぶことによって自分の楽曲をより良い形で完成させることができる。											
授業方法											
ワークとして2小節のリズムのディクテーションとメロディーのディクテーションをする。写譜をし提出することで見本となるような譜面のイメージを掴みながら進行する。音楽制作の現場で使われている作詞作曲のテクニックを聴講し、そのテクニックを使ったワークをする。時代の傾向を学ぶために近年で流行ったポップスをアナライズする。発想力を鍛えるための作詞トレーニングを実施する。											
成績評価方法											
試験60%(知識及び技能のほかに思考・判断・表現を評価する)、授業内発表20%(知識及び技能のほかに思考・判断・表現を評価する)、平常点20%(主体的に学習に取り組む態度を評価する)											
履修上の注意											
専門学校は、社会人としての行動・あり方を学ぶ「職業訓練」の場であるという考え方から、他の授業・実習と同様、出席状況については厳しく評価する。また、授業中の態度(居眠り、私語など)にも厳しく対応する。卒業後の自分自身の生きる力を得るものであり、自分自身のこととして主体的な考え方をもち、積極的な姿勢で授業に参加してほしい。なお、授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。											
教科書教材											
授業内でのワーク											
回数	授業計画										
第1回	(ワーク:メロディー譜の写譜)メロディー譜を紐解く。										
第2回	倍音率によるTendency Toneとは何か。心地いいメロディー作りと斬新なメロディー作り。										
第3回	(ワーク)穴埋め形式でメロディーを作り、譜面に書く。										

作詞・作曲4

第4回	トランスポーズについて。移調、転調とは何か。
第5回	(ワーク) メロディー譜を移調する。
第6回	アウフタクトにおけるメロディーと歌詞のフレーズの書き方とその効果の研究と考察。
第7回	(ワーク) 作詞トレーニング テーマ別作詞 季節をテーマに
第8回	反復法、倒置法とは何かを学びその効果を体感する。ヒット曲での考察。
第9回	(ワーク) 作詞トレーニング 発想力を養う。
第10回	(ワーク) 穴埋め形式でメロディーを作り、譜面に書く。
第11回	タイトルのつけ方、印象的な歌詞を書くTips
第12回	ルビの振り方、印象的な歌詞を書くTips
第13回	(ワーク) 作詞トレーニング テーマ別作詞 卒業をテーマに
第14回	テスト対策
第15回	テスト対策と全体まとめ